

「沖縄県職員採用ガイダンス2026 【技術系】」 業 務 説 明 会

水道分野における土木職の役割

沖縄県企業局 建設課 建設第2班



沖縄県企業局とは？

水道用水供給事業

- 沖縄県内の市町村等へ水道用水を広域的に供給
- 水源を持たない市町村等に水を卸売りしている
(沖縄本島の9割が企業局の水道用水を利用)



沖縄県企業局とは？

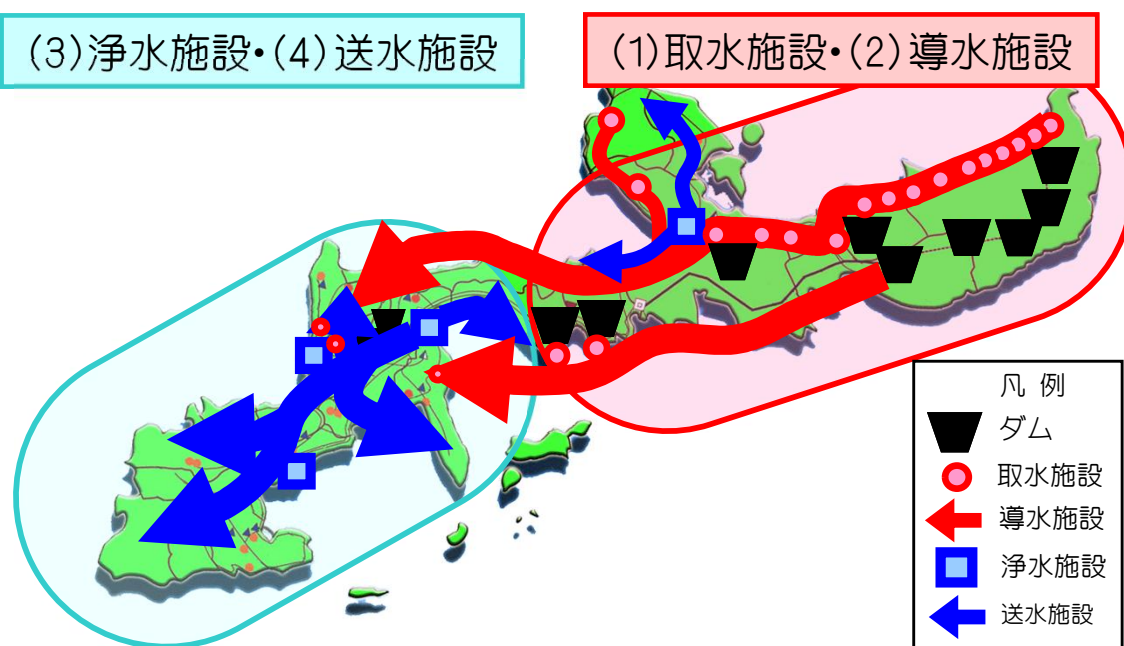
工業用水道事業

- ▶ 製造業を中心とする企業等に工業用水を供給
- ▶ 1 1 1 事業所へ供給（R 7 年 4 月時点）



沖縄の水道の特徴

- 沖縄本島は南北に細長く、水源地（北部地域）と消費地（中南部地域）が離れている
- 水を送るための管路の延長が長く、増圧ポンプ場など多くの水道施設を必要とする



水管橋
(河川横断)
直径2メートル



埋設管
(開削工法)
直径0.9メートル

沖縄の水道の特徴

➤ 水の安定供給には、

土木職をはじめとする
技術職員が必要



【部門別の業務概要】

建設部門の業務について

業務内容

水道管や浄水場の建設に関する各段階の業務

▶ 発注・契約

設計業務（設計コンサルタントと契約）、工事（施工業者と契約）

▶ 監督・管理

契約案件が適切に行われるよう監督・管理

▶ 業務調整

契約先だけでなく、国、沖縄県、市町村等の
様々な相手と業務が円滑に進むよう調整

【建設部門】 管路工事（開削工）



ダクトル鉄管吊り上げ状況



配管施工状況

【建設部門】 管路工事（開削工）



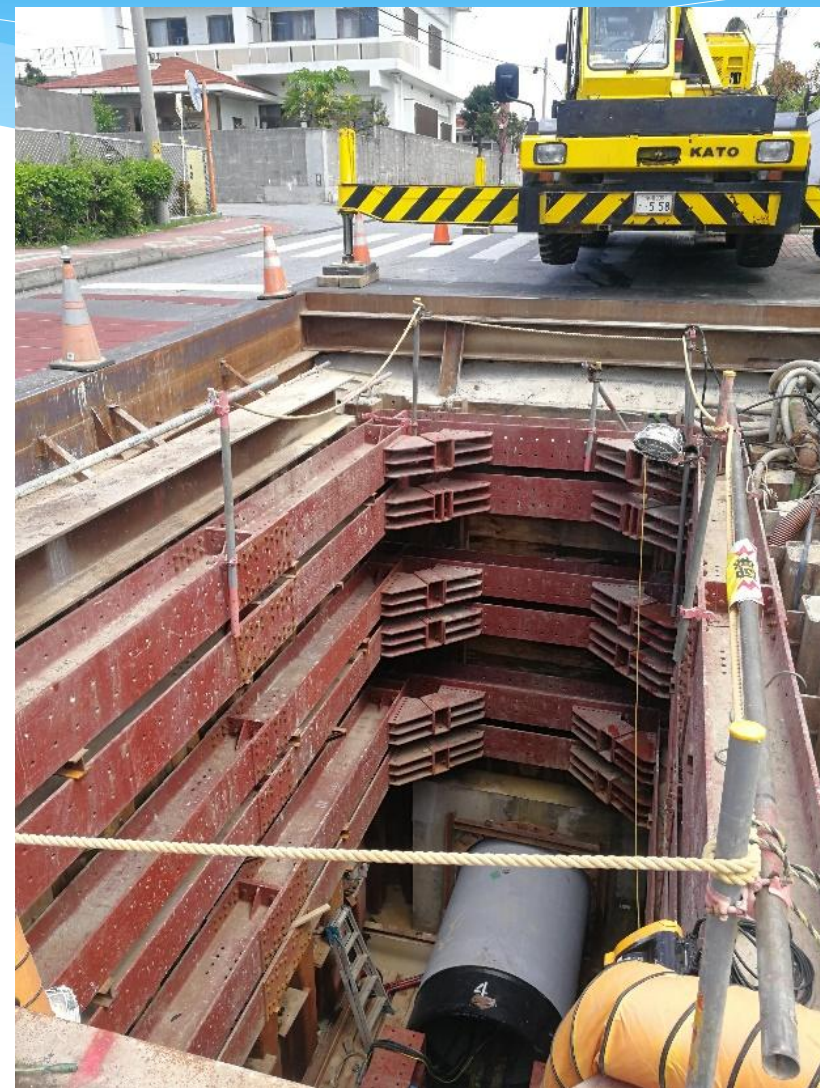
バルブ設置施工状況



接合確認状況

【建設部門】 管路工事（推進工）

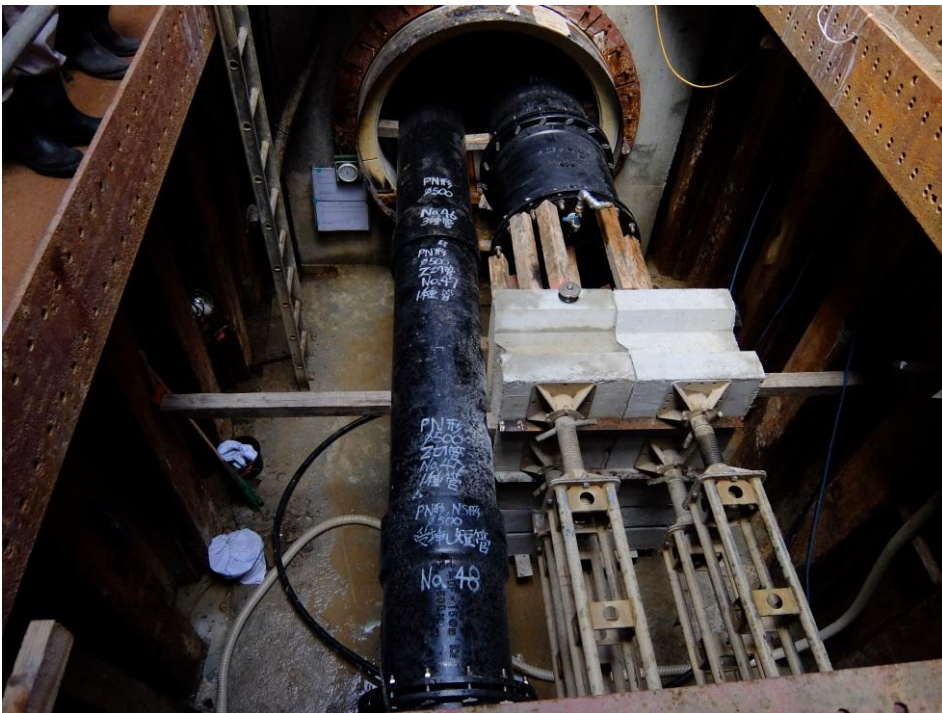
推進管 $\phi 1350\text{mm}$



【建設部門】 管路工事（推進工）

推進機 $\phi 1350\text{mm}$





【建設部門】 導水トンネル工事



導水トンネル（建設後約50年）

〔 企業局全体の約50%の
水量が流れる重要施設 〕



トンネルの補修・補強工事

〔 水需要が少ない冬場に水を
止めて内部を補修・補強 〕

【建設部門】 導水トンネル工事



老朽化状況（漏水）



鉄筋配筋状況

【部門別の業務概要】

維持管理部門の業務について

業務内容

水道管、浄水場の点検やメンテナンス

➤ 施設の点検

水の安定供給に支障がないよう施設を点検

➤ 施設のメンテナンス

不具合のある施設を補修、水道管の移設等

➤ 発注・契約

➤ 監督・管理

➤ 業務調整

【維持管理部門】 施設の点検・メンテナンス



補修工事の監督・立会



【部門別の業務概要】

計画部門の業務について

業務内容

水道施設の規模(水量)や浄水方法(水質)を計画

▶ **水需要予測・水源計画・浄水方法**

将来の人口予測などを基に供給量と水源の確保

▶ **水道施設の整備計画**

将来の安定供給に向けた整備手順や費用の計画

▶ **交付金要望・交付金手続き**

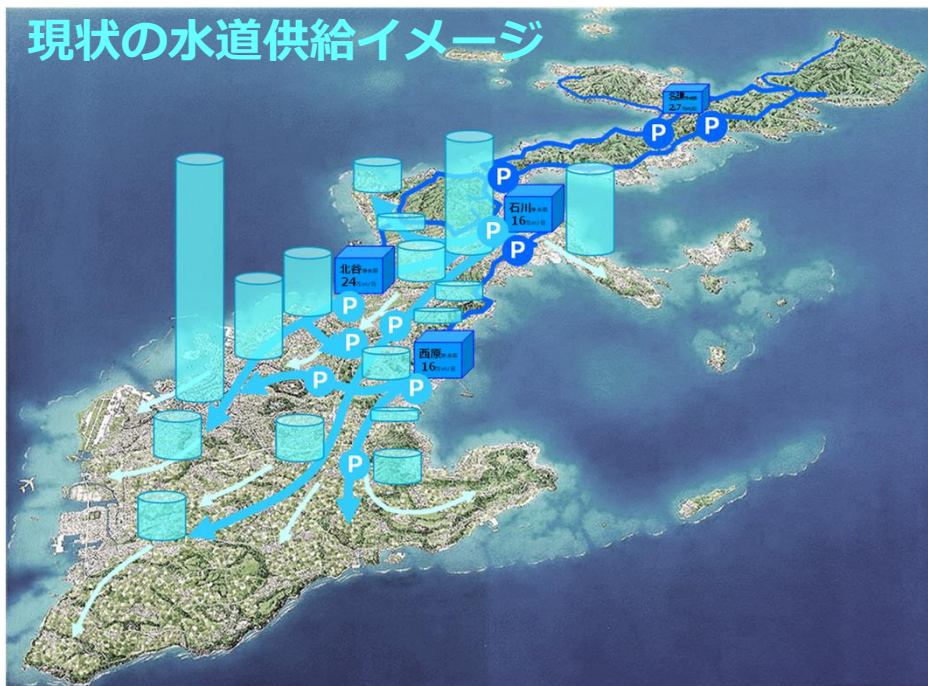
水道施設の整備に必要な費用を国へ要望・
予算化し、交付金の申請・報告手続きを実施

【計画部門】 水道施設の再構築

水道を取り巻く環境

- 施設の老朽化や自然災害への対応 (支出増加)
- 人口減少に伴う水需要の減少 (収入減少)

現状の水道供給イメージ



今後の取組内容

- ① 老朽化施設の計画的な更新
- ② 耐震化等の減災対策
- ③ 施設の規模や配置の見直し (コスト縮減)

●理想的な 水道施設 へ再構築

〔 15～30年後
を見据えた
計画を検討 〕

まとめ

- 沖縄の水の安定供給には土木職が寄与
- 将来にわたって沖縄の発展を支えるためには、
基盤となるライフライン（水道）の再構築が
重要（土木職に大きな期待）

